

持続可能なくらし 実現のための環境ラベル

(社) 日本消費生活アドバイザー・
コンサルタント協会
理事 辰巳菊子

1

(社) 日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント協会とは

- ◆略称NACS (1988年6月設立)
- ◆全国に会員が約3,870名 (2003年9月現在)
会員は消費生活アドバイザーと消費生活コンサルタントの有資格者
- ◆消費者の利益と企業活動の調和を図り消費生活関連問題をテーマに活動
- ◆環境委員会は1999年4月から持続可能な社会に向け、環境ラベルに着目した活動を行っている。

2

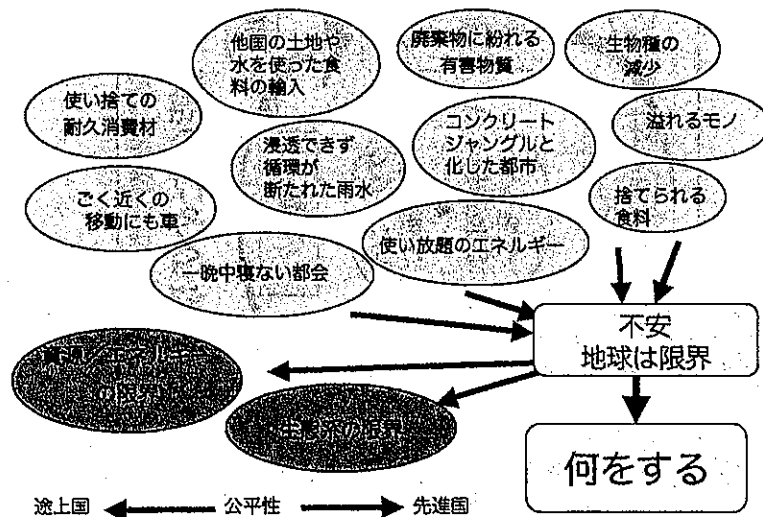
「1秒の世界」 (山本良一著/ダイヤモンド社)から

1秒間に

- ◆ 地球が太陽のまわりを29.8km進む
- ◆ 体育館32棟分、39万m³の二酸化炭素が排出される
- ◆ 大型トラック63台分、252トンの化石燃料が使用される
- ◆ 畳48枚分、78m²の土地が中国で砂漠化している
- ◆ 4トンの文書用紙が世界で使われている
- ◆ 新幹線のレール376m分、22トンの鉄が地球から掘り起こされている
- ◆ 1万6,000缶、5,700リットルの炭酸飲料が飲まれている
- ◆ 40万kWhの電力が世界で消費されている
- ◆ 人口が2.4人増えている

3

人は何をすることが問われている



4

グリーンコンシューマーになろう

資源やエネルギー、人や生き物などについて環境に与える影響を広く考え、商品・サービスや企業を選ぶ行動をする人

何を考えるの

- ◆どんな資源を使ってるの？
- ◆この製品はどうやって、ここまできたの？
- ◆すごいエネルギーを使ってない？ 使わない？
- ◆公平に作られているの？
- ◆故障したらどうなるの？
- ◆捨てられた後どうなるの？ 安全性は？

5

環境キーワードの認知度

| 環境キーワード | 全体 (%) | 環境重視派 (%) |
|---------------|--------|-----------|
| 省エネ | 95.4 | 100.0 |
| リサイクル | 92.7 | 97.0 |
| ダイオキシン | 91.7 | 97.0 |
| 地球温暖化 | 83.8 | 90.9 |
| エコマーク | 75.1 | 93.9 |
| 環境ホルモン | 62.5 | 87.9 |
| 環境ラベル | 23.5 | 39.4 |
| 環境報告書 | 19.0 | 27.3 |
| グリーン購入 | 13.2 | 21.2 |
| ライフサイクルアセスメント | 9.5 | 27.3 |
| グリーンコンシューマー | 5.6 | 18.2 |
| 3R | 5.2 | 15.2 |
| サステイナビリティ | 2.5 | 6.1 |

(出典) 「2002生活者の環境意識と行動調査報告書」電通、2002年3月より抜粋。n=630

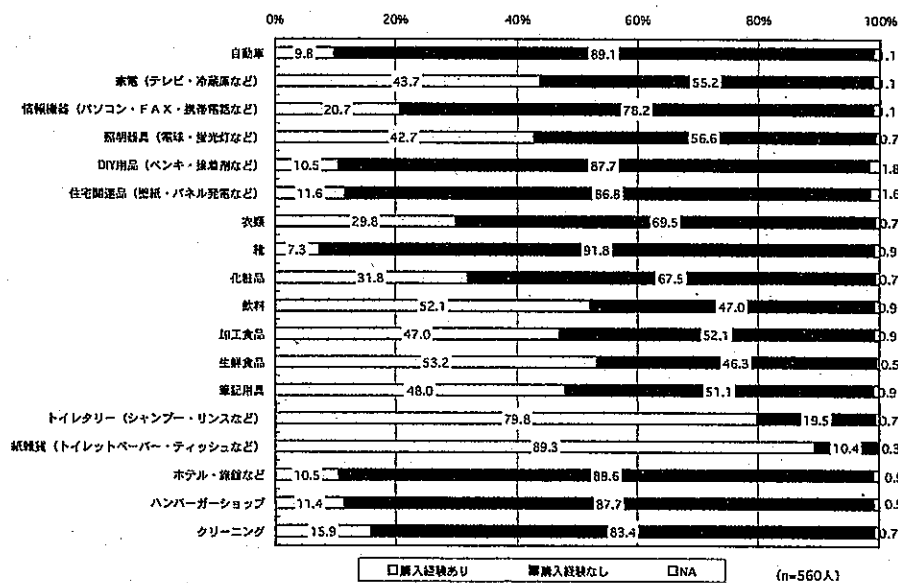
6

アンケートから (2000年7月～8月実施)

- ◆商品カテゴリーにより環境商品購入経験の有無は異なっていた
 - * 購入経験が少なかった耐久消費財のパソコンは、「環境商品が見つからない」「環境情報がない」が購入しなかった理由
 - * 購入経験が多かった雑貨品の紙類は、「価格が手頃であった」「環境情報があった」が購入した理由
- ◆商品カテゴリーにより環境情報のニーズが異なり多様である
 - * 耐久消費財は、定量的なデータがほしい
 - * 雑貨品は、マーク類がほしい
 - * サービスについては、詳しい説明がほしい
- ◆環境ラベルは環境商品購入の決め手になっているし、なりうる

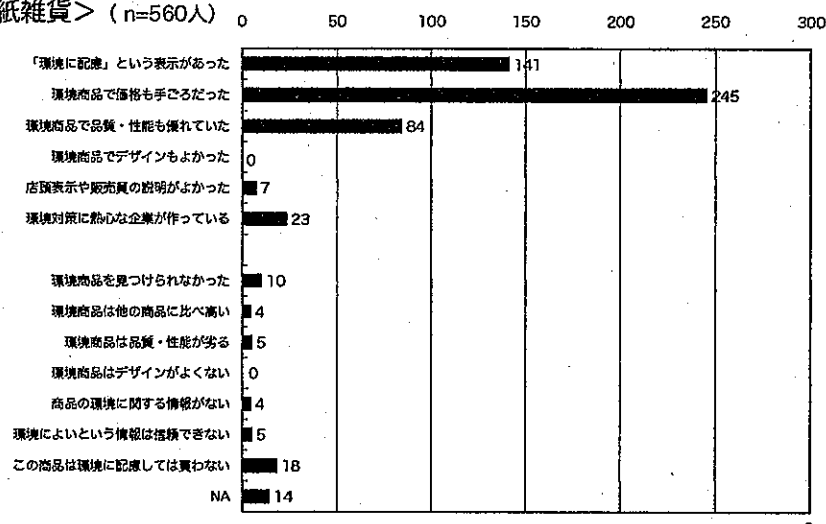
7

環境商品の購入経験



環境商品を購入した理由・しなかった理由

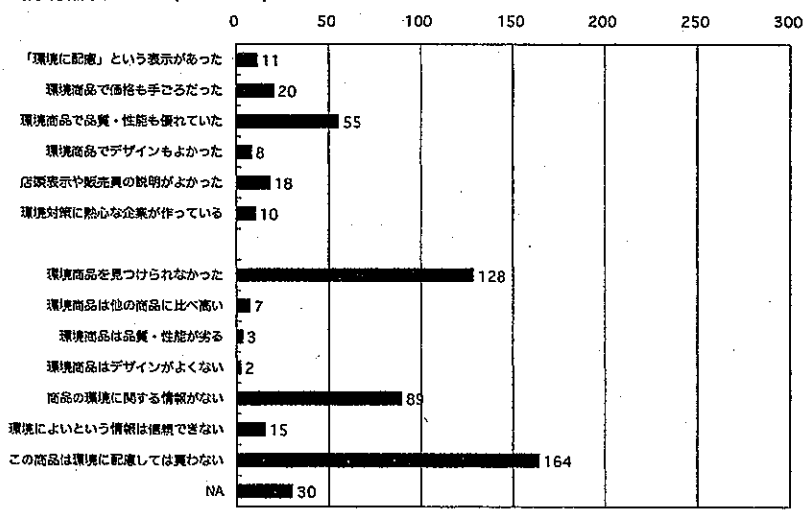
<紙雑貨> (n=560人)



9

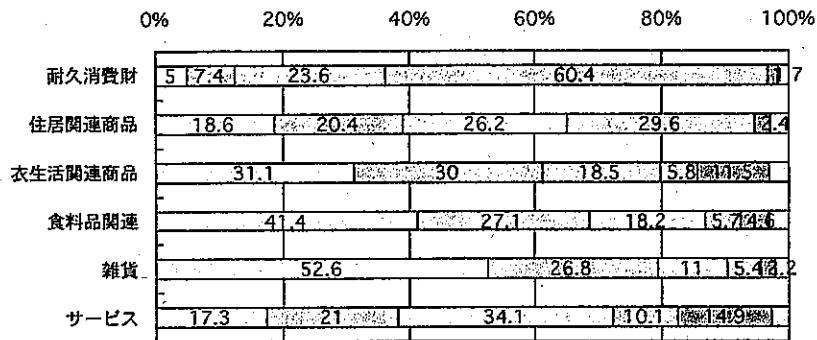
環境商品を購入した理由・しなかった理由

<情報機器> (n=560人)



10

参考にしたい環境情報



- マーク類
- 詳しい説明
- 環境情報は参考にしない
- 簡潔な文章
- 定量的なデータや説明
- NA

11

環境配慮型商品と環境ラベル

- ◆グリーンコンシューマーが育つと同時に、環境配慮型商品も数多く、かつ洗練されたものが登場しないと消費者の満足は得られない
- ◆どこが、どういう点で、どのように環境配慮されているのかが明確でないと、やはり選ばれる対象からはずれてしまう



環境ラベルが絶対に必要

12

消費者が望む環境ラベル10原則

- 1 十分な量の情報があること
- 2 わかりやすいこと
- 3 具体的な表現であること
- 4 トータルな情報であること
- 5 比較できること
- 6 信頼できること
- 7 社会のニーズを反映していること
- 8 検証されていること
- 9 「消費者の知る権利」に対応していること
- 10 「消費者の意見をいう権利」が確保されていること

13

環境ラベルを チェックしよう

環境配慮型商品選択のために



環境配慮型商品選択のために

チェック一覧

- 環境ラベルがある
- 製造までの環境に関する情報がある
- 商品を使用するときの環境に関する情報がある
- リサイクルや廃棄するときの環境に関する情報がある
- 環境ラベルをすぐ見つけることができる
- 環境に関する情報が具体的である
- 同じような品質や機能のものと比較できる環境情報がある
- 環境に関する社会のニーズを反映している
- 環境についてのデメリット情報がある
- 環境に関する情報が検証されている
- 問い合わせ先がある

nacs

(社)日本消費者生活アドバイザー・コンサルタント協会
環境情報委員会

②

14